

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：城陽市）

タイトル	介護予防普及啓発事業
------	------------

現状と課題

要支援・要介護状態になることを予防するために、市民一人ひとりが介護予防に対する認識を深め、また、一人でも多く参加できるよう事業の充実を図る必要がある。

また、要支援状態であっても、できる限り重度化を防ぎ、より自立支援を徹底した予防給付の利用促進を図る必要がある。

第8期における具体的な取組

介護予防の重要性について周知を図り、活動の実践を促進するために、介護予防に関する各種教室などによる健康教育を実施するとともに、介護予防活動の啓発のための介護予防教室や、医療法人啓信会の協力により完成した市独自のゴリゴリ元気体操を実践する住民主体の介護予防活動に取り組む団体の育成を目的とした介護予防教室を実施し、また介護予防に関するパンフレット等を作成・配布する。

目標（事業内容、指標等）

住民主体で介護予防活動（ゴリゴリ元気体操）に取り組む団体の育成を目的とした介護予防教室を実施し、各日常生活圏域（5圏域）で1団体／年度の育成を目指す。

【指標】

住民主体で介護予防活動（ゴリゴリ元気体操）に取り組む団体の数

目標の評価方法

- 時点
 - ☐ 中間見直しあり
 - ☒ 実績評価のみ
- 評価の方法

住民主体で介護予防活動（ゴリゴリ元気体操）に取り組む団体の数をカウント

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：城陽市）

年度	令和5年度
----	-------

実施内容

住民主体で介護予防活動（ゴリゴリ元気体操）に取り組む団体の育成を目的とした介護予防教室を実施し、令和5年度においては、2団体の新規団体を育成した。

自己評価結果

目標としている育成数：5団体／年度は未達成だが、住民主体で介護予防活動（ゴリゴリ元気体操）に取り組む団体を着実に増加できている。

課題と対応策

介護予防の重要性について周知を実施し、住民主体で介護予防活動（ゴリゴリ元気体操）に取り組む団体の増加を図る。